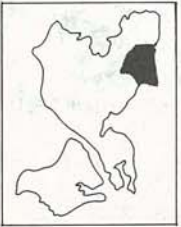


# 市川のまち 地名の由来

◀No.3▶



の歌があります。

都から離れた地方では、植物の葉などが食器がわりに使われました。古い時代、宮中では食事を調理する人たちを「膳部(かしわべ)」といいました。また、鶏肉のことを「カシワ」ともいっています。カシワとは、食事に関係した言葉です。だから必然的に水との関係をもつてくることにもなります。

## 柏井

の井戸がどこにあったものか、今では分かりません。

さて、柏の木は大きな葉をつけます。餅をこの葉で包んだものが「かしわ餅」です。

万葉集には、  
「家にあれば筥に盛る飯を草枕、  
旅にしあれば椎の葉に盛る」



梶川与惣兵衛祖父母の墳墓

## カシワ(食物)と井(井戸)がくっついた？

江戸時代初期、この地を所領したのが旗本の梶川氏です。忠臣蔵で有名な「松の廊下」で、浅野内匠頭に切りつけられる吉良上野介を助けた、あの梶川与惣兵衛です。唱行寺の裏山には与惣兵衛の祖父母の墳墓が残されています。

また、唱行寺の開創については、念仏僧の鐘阿弥が日蓮の弟子となって日唱と号し、いままで使っていた鉦を捨ててかわりに、太鼓を打つことを許してもらいました。唱行寺が太鼓の霊場と呼ばれるのはこのことからです。そして、鉦を埋めたという「鉦鼓塚」が境内に残っています。

(社会教育指導員・綿貫喜郎)

◇ 次回は「若宮」を予定しています。